



教育センター・育成センター所報

GALILEI



パンスターズ彗星が大接近！詳しくはP 6をご覧ください。

CONTENTS

今月の巻頭言	P 1
私の子育て	教育センター運営委員 柏崎市小中学校PTA連合会長 三宮 真美
教育センターだより	P 2
アクセス(教育研究班)	P 2
プロジェクト K(科学技術教育センター)	P 6
心の窓(教育相談班)	P 10
4月の行事予定表	P 13
所員随想「つれづれ」	P 13
彗星接近中!	副所長 山田 智

平成25年3月号

柏崎市立教育センター 柏崎市青少年育成センター

今月の巻頭言

私の子育て

教育センター運営委員
柏崎市小中学校PTA連合会
会長 三宮 真美



私に子どもが授かったとき、「お姉ちゃんでしょ」とか「お兄ちゃんなんだから」という言葉は言わないようにしようと決めました。理由は、言われた子どもは我慢をしてしまうから・・・。

次に、子どもに「ねええ」と呼ばれたら、必ず返事をするを心掛けました。理由は、子どもはどんな理由であれ、母親がどんな状況であれ、母親を必要として呼ぶのだから。

あと、子どもを育てているとき、どうしても叱るときがあります。そのときは必ず子どもを正座させます。もちろん私も正座。なぜ叱られるのか・・・何が悪いのか・・・子どもの話を聞いたりしながら分かるように話します。でも、こんなやり取りは小学校の低学年までで、今は徐々に大人の対応に移行していますが・・・。

子どもの成長は楽しみです。が、どこかで育て方の忘れ物をしてきたのではないかと思うときがあります。子どもと過ごす日々なんて、長い人生の中でほんのわずかで、子育ての一番大変なときが一番幸せかもって思いながら過ごしていて、楽しさや嬉しさのあまり、育て方を見過ごしている？なんて思っているからです。

父親は、ちょっと離れたところで見守ってくれると安心します。常に「ここにいる」ことを示してくれれば、そばに行き話すことができるから・・・それでいいかなと思っています。今は、子どもの進みたい道を一緒に模索し手助けしていますが、これでいいのかな？と悩んだときに、アドバイスをそっとくれる存在が近くにあったら嬉しいと思っています。その存在は、ときに先生であったり地域の方だったり、家族・友人だったり・・・。

たくさんの方々に支えられて、見守られて育てられる環境にあるのですから、そんな環境にときには甘えて、少し立ち止まって、深呼吸をして前に進む・・・そんなふうに子どもを育てられたら幸せなのかな・・・。必ず次の子どもへとつながるように、きちんと育てたいという気持ちはあるけれど、あまり肩肘張らずに、子どもと一緒に成長できたら御の字ですね。

かわいい子どもたち、たくさんの人に愛されている自信を持って育ててほしい・・・そして大人たちは、多くの人に愛情を注ぐように過ごせたらいいですね。

■ 研修講座より

柏崎の教育を語る会 分科会報告 <その2>

2/16(土)アルフォーレでの「柏崎の教育を語る会」について、先月号に引き続き、分科会記録をご紹介します。

各地域にはそれぞれ、子どもにかかわる課題があります。この課題を共有し（ともに語る）、協働し（ともに歩む）、成果を語り合っていきましょう（ともに語る）。それは達成感や新たな課題の共有であり、より進化した教育コミュニティの創造につながります。



「書くこと」を充実させたい・・・

1/25(金)新学習指導要領に基づく実践紹介(国語)
講師 長岡市立表町小学校 教諭 倉部 努 様

長岡市立表町小学校の倉部努先生をお招きしてのこの講座では、まず、倉部先生の国語授業に対する考え方の紹介がありました。そこでは「書くことを通して生活を見つめさせる」「書くことを目的として読むことを充実させる」等の提案があり、講師のポリシーが伝わる導入となりました。これに基づいた「経験したことをもとに俳句、随想を書く」「書評を書く」「四コマ漫画でストーリーを作ろう」等、豊富な実践を紹介いただきました。いずれも「書くこと」を中心に他の言語活動の力も身に付けていくものでした。



参加された先生方の振り返りには「書くことを充実させる」という点に共感しました。個別に対応するためにワークシートを工夫している点も参考になりました。国語は音読、読解中心だと考えがちでしたが、書くことを中心に子どもたちの表現力や創造力を伸ばしていくことを学びました」等、倉部先生の考え方から学んだことが多く記述されていました。

身の回りを観察しながら教材研究を！

1/31(木)新学習指導要領に基づく実践紹介(家庭科)
講師 上越市立城西中学校 教諭 百目鬼香保里 様

上越市立城西中学校の百目鬼香保里先生をお招きしてのこの講座は、まず、小中学校の家庭科の指導要領の比較から入りました。そこでは、小学校での「生活を工夫する」から、中学校での「社会との結びつきを求めていく」過程を明確に示していただきました。また、普段から身の回りを観察したりウェブサイトを検索したりして教材研究を進めることの大切さを紹介していただくなど、家庭科担当教師にとって有意義な内容となりました。



参加された先生方の振り返りには「教材研究する際に参考とするべき視点や、リバーシブルバック作成の実習など、授業づくりに悩んでいる私にとって道しるべになる実践紹介でした」「自分が忘れてかけていた家庭科の楽しさを思い出しました」など、今後の家庭科の授業づくりに向けて元気の出る講座となりました。

危機意識をもった対応を！

2/28(木)特別支援教育の視点で不登校を考える
講話 柏崎市教育委員会学校教育課 上野忠英指導主事
実践紹介 県立柏崎特別支援学校 金子美也子 様
土田 優子 様

学校教育課の上松武指導主事の担当のこの講座では、まず、上野指導主事から「ストップ30」についての説明があり、「欠席30日未満の段階で危機意識をもつこと」や「初期対応準備の重要性」についての確認がありました。また、わかる授業づくりや安心して過ごせる学級づくりが「新たな不登校を生まない取組」であることについても説明がありました。



後半は、柏崎特別支援学校の金子美也子先生と土田優子先生から、不登校の背景と具体的支援について発表がありました。子どもの状況を把握できるチェックリストや、個別事例に対する対応の仕方についてや、複数の目で困り感のある子どもへ確実に対応していった事例について丁寧にお話いただきました。

参加された先生方の振り返りには「危機意識を持つことと同時に、すべての基本は学級経営であるということに改めて感じました。その中で一人一人をしっかりと見取り適切な対応を早期にとることが大事だと改めて感じました」等、普段の取組を見つめ直すきっかけになった記述が多くありました。

■ 柏崎教育情報支援システム/コンテンツサーバ情報

資料を登録しました

◆コンテンツサーバ

実施日	講座名／資料名
2/26	H24 年度用セキュリティチェックシート(「ポリシー/サポート関連」のページ)
3/1	改訂版 個別の指導計画作成マニュアル(「教育委員会資料」のページ)
3/5	柏崎市刈羽郡学校教育研究会情報教育研究部 H24 年度実践記録集(「学校教育研究会実践記録集」のページ)
3/8	ALT News Letter 第 17 号(「教育委員会資料」のページ)

■ 情報関連講習会のご案内

4 月に実施されるスクールオフィス関連講習会(日程は未確定です)

◆4 月上旬 スクールオフィス新任者講習(管理者向け)

市外からの転入又は新任の管理者向けに、スクールオフィスの概要と、年度のスタートにあたって最低限必要な業務について学習します。

◆4 月上旬 スクールオフィス新任者講習(養護教諭、学籍担当者向け)

市外からの転入又は新任の養護教諭及び学籍担当者向けに、前後半の2部に分けて実施します。
前半は養護教諭向けで、保健管理システムの概要と、年度のスタートにあたって最低限必要な業務について学習します。
後半は学籍担当者向けで、日々の健康観察の入力手順と保健管理の健康観察マスタとの関連性、出席簿の作成手順について学習します。

■ スクールオフィス情報

年度末、年度始め処理のポイント

◆クラス替えは新年度になってから

成績管理システムの利用が始まりましたので、年度内にクラス替えを行ってしまうと、成績の入力や指導要録の作成・出力に影響してしまいますので注意してください。

◆クラス数減になる場合は新年度になってから

仮年度で次年度のクラス数を減らしてしまうと(今年度2クラス、次年度から1クラスなど)、年度更新時にそれまで所属していたクラスがなくなってしまう、「未所属」となる児童生徒が発生してしまうため、このようなケースでは自動的に元のクラス数(2クラス)に戻されます。新年度になってから、クラス替えを行った後に減らすようにしてください。

◆転出・退職者の離任処理はできるだけ年度更新直前に

教職員名簿に離任日を入力すると、その日付に関わらず、保存した時点で離任処理が行われます。以降そのユーザーはログインできなくなりますので注意してください。また、年度更新後に離任日を入力すると、その年度の終わりまで名簿に残ります(離任したものとしての表示です)。

なお、離任日の入力を忘れて年度更新してしまった場合でも、年度を前年度に切り替えて離任日を入力することで、新年度に表示されなくなります。

◆年度更新時のチェックボックスに注意

年度更新処理を実行する場合は、以下のチェックボックスの扱いに注意してください。仮年度で用意しておいたことが無効になる場合があります。

【仮年度更新をしてある場合】

スクール
オフィス 2.0 年度更新
学校基本情報管理 > 年度更新

2010 年度データから **2011 年度** のクラスを生成します。 次年度クラス再生成
※すでに、来年度【2011】のクラスデータは作成されています。

すでに次年度のマス目が仮年度更新で作成済みです。再作成する。
学校基本情報：クラスマス目、日定義、学期構成、校時パターン、学年別授業時数、休祝祭日マス目
時数管理：授業カード、年間授業時数、特別教室専科マス目

未就学児童を次年度の1年生とする

① 最終学年のクラスの構成で次年度(次学年)クラスが生成され、在校生はそのまま引き継がれます。
② 最終学年の未就学児童は、未就学児童として引き継がれます。
③ 未就学児童のクラスはそのままの構成で次年度(次学年)クラスが生成され、在校生はそのまま引き継がれます。
④ 未就学児童のクラスはそのままの構成で次年度(次学年)クラスが生成され、在校生はそのまま引き継がれます。
⑤ 卒業となった児童生徒のシステムへのユーザアカウントは削除されます。
⑥ 項目定義、学期構成、校時パターン、学年別授業時数、休祝祭日設定マス目はそのまま次年度マス目として引き継がれます。
(ただし、年間校時、年間行事は新たに設定する必要があります。)
⑦ 成績、保健管理のマス目はそのまま次年度マス目として引き継がれます。
⑧ 時数管理の年度更新も自動的に起こります。
授業カード、年間授業時数、特別教室専科マス目はそのまま次年度マス目として引き継がれます。

※ 注意！
■ 年度更新する前には他のシステムを終了させてください。(トップ画面は開いたままで結構です。)

未就学クラスに次年度の入
学予定者を登録済みの場
合は、チェックを入れる

ここにはチェックを入れない
チェックを入れると、仮年度の登録
データは無視されます

【仮年度更新をしていない場合】

スクール
オフィス 2.0 年度更新
学校基本情報管理 > 年度更新

2009 年度データから **2010 年度** のクラスを生成します。 次年度クラス生成

未就学児童を次年度の1年生とする

① 最終学年のクラスの構成で次年度(次学年)クラスが生成され、在校生はそのまま引き継がれます。
② 最終学年の未就学児童は、未就学児童として引き継がれます。
③ 1年生の未就学児童は、未就学児童として引き継がれます。
④ クラスの構成で1年生として引き継がれます。
⑤ 卒業となった児童生徒のシステムへのユーザアカウントは削除されます。
⑥ 項目定義、学期構成、校時パターン、学年別授業時数、休祝祭日設定マス目はそのまま次年度マス目として引き継がれます。
(ただし、年間校時、年間行事は新たに設定する必要があります。)
⑦ 成績、保健管理のマス目はそのまま次年度マス目として引き継がれます。
⑧ 時数管理の年度更新も自動的に起こります。
授業カード、年間授業時数、特別教室専科マス目はそのまま次年度マス目として引き継がれます。

※ 注意！
■ 年度更新する前には他のシステムを終了させてください。(トップ画面は開いたままで結構です。)

未就学クラスに次年度の入
学予定者を登録済みの場
合は、チェックを入れる

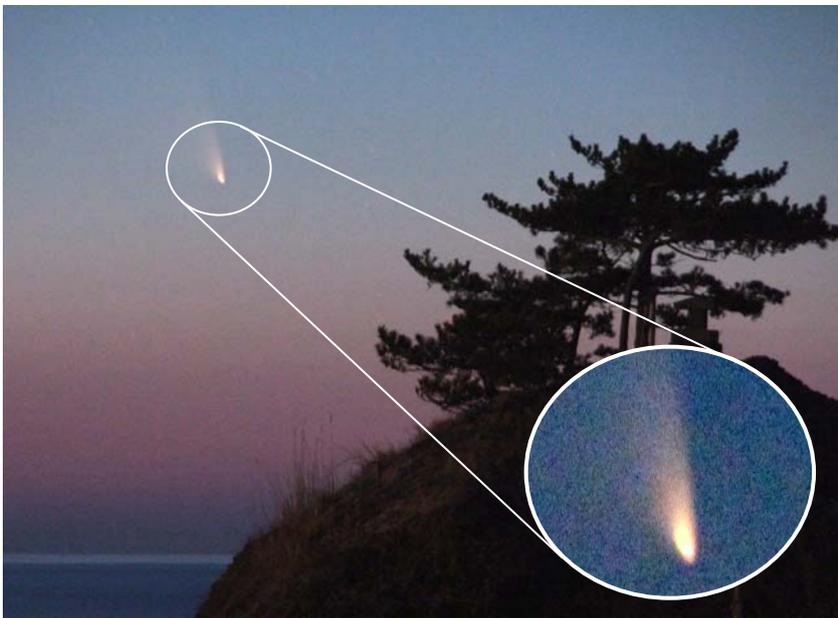
■ セキュリティ情報

セキュリティホール情報

マイクロソフトより、3月13日付で3月の定期更新として、Windowsなどの重要な更新が公開されました。最大深刻度「緊急」が4件、「重要」が3件です。まだUpdateが済んでいないようでしたら、至急Windows Updateなどを実施していただくようお願いします。

天体ニュース パンスタース彗星が大接近！

肉眼で見ることのできる彗星の接近は、10年に一度あるかないかですが、2013年は肉眼で見える彗星が二つ接近すると予測されています。今年観測される彗星は、パンスタース彗星とアイソン彗星で、パンスタース彗星は3月に、アイソン彗星は11月から12月にかけて市街地でもよく見えると予想されています。そのうちの3月に見られるパンスタース彗星が太陽にもっとも近づくのは3月10日で、明るさは最大の見積もりで-3等級、暗めに見積もっても0等級と予想されています。近日点通過前は南天なので観測できませんが、そのあとはどんどん北上して、3月下旬から4月上旬は夕方の西天と夜明け前の東天で1日に二度見ることができると期待されています。(星空ガイド2013参照)



左の写真は、市内大字青海川の鷗が鼻で教育センターが撮影したものです。

(3月15日18:40頃)

残念ながら肉眼では期待していたようにはっきりは見ることはできませんでした。しかし、パンスタース彗星が現れるであろう方向と時間にカメラを構え、シャッターを切った写真に彗星らしいものが写っているではありませんか。明るさやコントラストを操作して、拡大したものをみるとやっぱり、

ぼんやり彗星の尾の部分が見えます。これがパンスタース彗星です。ぜひ、柏崎市教育情報支援システムからガリレイを開き、カラーの記事を見ていただきたいと思います。肉眼で見られる日を夢見て、天気の良い日は夕方外に出てみてはいかがでしょうか。

また、日暮れのころ、西の空のやや高いところに木星を観測することができます。彗星の接近、木星について子どもたちに紹介して、夜空を見上げる機会にしていただければと思います。

11月に見られるアイソン彗星は、史上もっとも明るい彗星になるのではないかと期待されています。詳細はまた来年度の「プロジェクトK」にてお知らせしたいと思います。

天体豆知識！

Q 彗星はどのくらいの大きさなのですか？

A 本体の大きさが数kmから数十kmのとても小さな天体です。

Q 彗星はどこからとんでくるのですか？

A 「オールトの雲」、「カイパーベルト」の二つが考えられています。

太陽から遠い場所にあった氷と塵は、混在して氷微惑星となりました。この氷微惑星のうち、大きく成長した惑星によって太陽系の外側へと散らされたものがオールトの雲に、海王星より外側の領域で惑星の成長途中で取り残されたものがカイパーベルトになったと考えられています。

Q 彗星はどんなものでできているのですか？

A 彗星の8割が水(氷の状態)で、二酸化炭素、一酸化炭素、その他のガス、そして塵からできています。

Q 彗星にはどうして尾があるのですか

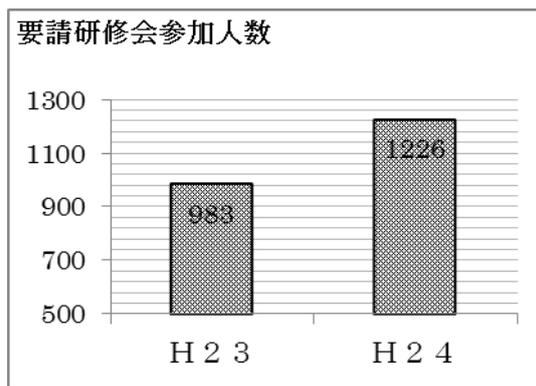
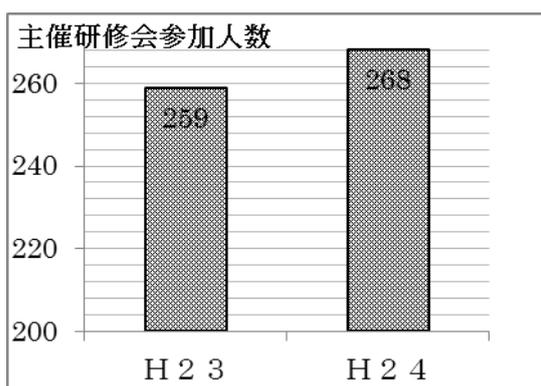
A 地球に近づくとほうきのような長い尾をひく彗星は、その姿から「ほうき星」とも呼ばれます。彗星の主成分は水(氷)で、表面に砂がついた「汚れた雪だるま」にたとえられます。太陽に近づくと、その熱で彗星本体(核)の表面が少しずつ溶けて崩壊します。そのときに本体の氷が蒸発し、ガスと塵も一緒に表面から放出されます。その結果、彗星の本体がぼんやりとした淡い光に包まれるように輝いて見えます。

さらに、本体から放出されたガスと塵がほうきのように見える「尾」を作ります。彗星の尾は、その成分と見え方から大きく2種類に分けられます。一つは、ガスが作る「イオンの尾」です。放出された電気を帯びたガス(イオン)は、太陽風に流されて太陽とは反対の方向に細長く伸びます。もう一つは、塵が作る「ダストの尾」です。

(参考資料 国立天文台 <http://www.nao.ac.jp/astro/sky/comet/>)

今年度の科学技術教育センター事業報告

今年度も、柏崎刈羽地区科学技術教育センターの事業にご理解とご協力をいただきありがとうございました。以下に、今年度の事業について報告します。



主催研修への参加者は、小中学校共に年々増加傾向にある。

要請研修は、「放射線教育」が非常に多く、「地層巡検」「標本作り」「科学クラブ」などが続いて多かった。

来年度に向けて

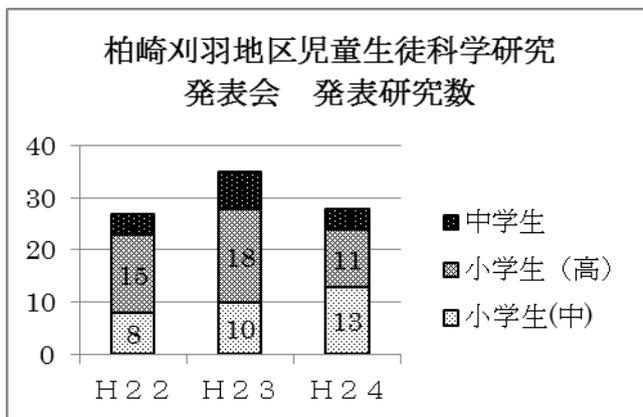
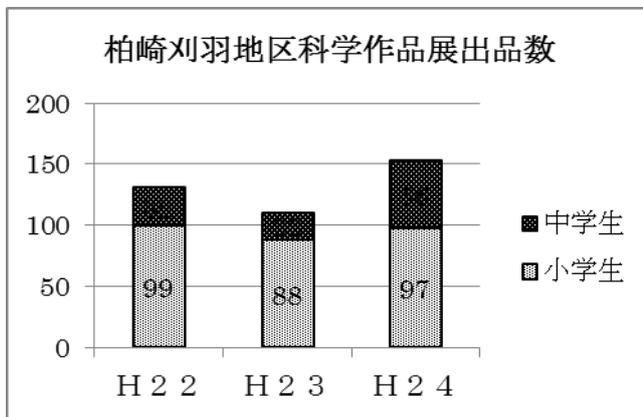
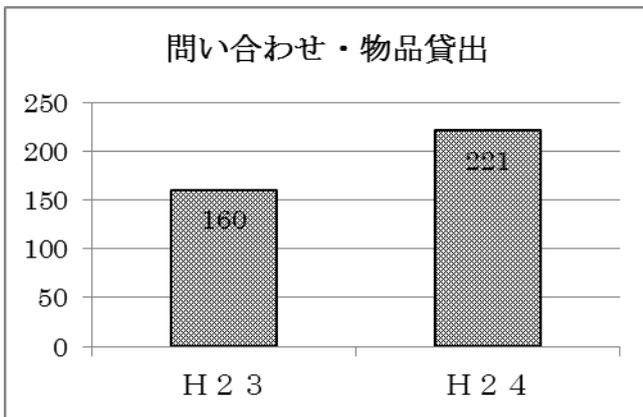
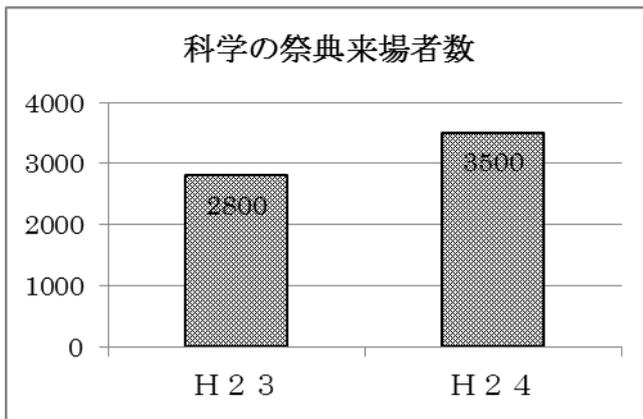
魅力ある研修会づくりに努めたい。

放射線教育のオリジナルDVDをバージョンアップさせ、使いやすいものに変えていきたい。

～参加者の声～

H24主催研修会受講者のアンケートより

- ・あーだこーだ言いながら、授業の予備実験ができたり、有効な教材を紹介してもらったり、授業の流れを考えたりすることができるこの時間はとても有意義だった。
- ・宿泊研修に参加した。ゆとりある日程でじっくり観察したり説明を聞いたりメモをとることができた。下見を丁寧してくれたおかげで安全・安心な研修会だった。
- ・理科という面、地域という面、キャリアという面で、今日の研修の活用の仕方に様々な可能性があると思った。
- ・何回も同じ学年をもっていると、授業も決まったとおりのパターン化をしてしまうことがある。だから、研修会に参加することで新たな教材など紹介してもらえ、今後の授業に役立つのでありがたい。



科学の祭典への来場者数が年々増えている。地域の理科的行事として定着しつつあることを感じる。(年間2回実施)

工科大学、高校、教員、地域の企業が協力しあって、39ブースを運営した。リピーターも多く、年齢は幼児から中学生まで幅広い。

オープニングショーなどで児童生徒が興味をもつような内容を行った。今年は「iPS細胞」「液体窒素実験」「大気圧」「静電気」を取り上げた。現場の先生方から協力いただき、ブース運営ができています。ぜひ、来年もお願いしたい。

堆積実験や、シュリーレン現象を見るアクリルパイプの貸し出しが多かった。

放射線の授業につかう教材、日食の観察グラスの貸し出しが多かった。

授業や教材研究で生じた質問を、電話やメールで問い合わせいただいた。

小中学校ともに、出品数が増した。

学校研の科学教育研究部と連携し、準備・審査が円滑に進められた。

153作品が出品され、県の作品展にも多くの児童生徒が挑戦した。

海藻標本に挑戦する児童が極端に減っている。海の柏崎であるのに、何か策を講じるべきだと考える。

発表数は30研究前後でここ数年来ている。

今年度は高学年、中学生の参加が減少して残念である。

科学研究に取り組む中学校が少ない。

理科主任の先生のご指導のおかげで発表態度が素晴らしい児童生徒ばかりだった。

来年度に向けて

科学研究に取り組む中学校が固定化されている。広く参加してもらえようPRが必要。科学の祭典のブースを幅広い年齢層で、多くの子供達が楽しめるように企画・運営する。



科学の祭典 オープニング実験ショー



科学の祭典 ブースは学生・教員・一般の方



地域の先生を講師に野外研修会



地域の先生を講師に名前調べ会を実施



単元別研修「もののおたまり方」



要請研修「放射線教育」



博物館のプラネタリウムで模擬授業



天体研修・フルーツの生演奏つき



宿泊野外研修会「立山・浄土山」



科学作品展審査会



柏崎刈羽地区科学研究発表会



教職員理科研究発表会

貸出できます！備品教材紹介

＜ペットボトルカッター＞

生活科や、図工でも使えるペットボトルカッター。電熱線の熱で溶かして切り落とす仕組み。切り口も安全で、切断するときのけがの心配がいない便利な道具です。



来年度は一層、理科教育の振興・充実に向けて、先生方のニーズに応えられるよう努力してまいります。1年間大変ありがとうございました。また、ぜひご利用ください！

心の窓

No.163

〒945-1355

柏崎市大字軽井川4803-2

TEL 0257(23)4591 (代表)

FAX 0257(23)4610

教育相談班 今年度をふりかえって カウンセリングルーム

平成24年度のカウンセリングルーム来室相談は、1月末で相談件数660件、相談人数190人となっており、昨年同時期と比較して件数で15%の増加、人数で5%の減少でした。

問題が比較的軽度で済んだために継続相談をせずに回復できたケースもありますが、子どもがセンターへ来ることを拒否して、継続的な相談に結びつかないケースもあるのが気になります。

相談内容の内訳では、「不登校」に関する相談人数が最も多く、次いで、「発達障害(通常学級)」となっており、23年度とほぼ同様の種別件数の傾向です。

相談事例の傾向としては、発達障害が疑われる集団不適應の事例や不登校の事例が増加していることが挙げられます。対応法も、カウンセリングだけにとどまらず、医療受診への繋ぎから転校等による環境調整に至るまで非常に多岐にわたっており、それに伴い、スタッフが支援会議へ出席したり関係機関と連携を取ったりすることに多くの労力を割いています。

(1) 年代別面接相談件数【()内は新規人数】

	幼 児	小学生	中学生	高校生	教員・一般	合 計
面接件数	39 (12)	355 (102)	254 (66)	4 (4)	8 (6)	660 (190)

(2) 内容別面接相談件数【()内は新規人数】

	就学 相談	通常学級 発達障害	特支学級 発達障害	不登校	いじめ	非行	集団 不適應	心身の 不調	情緒・精 神の障害	親子関係 の問題	その他	合計
面接件数	51 (21)	176 (54)	46 (17)	322 (67)	0 (0)	16 (4)	17 (6)	10 (9)	0 (0)	14 (8)	8 (4)	660 (190)

(3) 発達障害児のソーシャルスキルトレーニング(SST)「いろいろ体験グループ」実施状況

	前 期				後 期				計 (延べ)
	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	
小学生 グループ (実施日)	14人 (5/9) (5/11) (5/18)	12人 (6/1) (6/8) (6/22)	14人 (7/6) (7/13) (7/20)	11人 (8/3) (8/10) (8/17)	14人 (10/5) (10/12) (10/18)	15人 (11/2) (11/9) (11/16)	13人 (12/7) (12/14) (12/21)	9人 (1/9) (1/11) (1/18)	102人 /24回
中学生 グループ (実施日)	12人 (5/24) (5/25)	11人 (6/28) (6/29)	11人 (7/27) (7/30)	11人 (8/23) (8/24)	10人 (10/25) (10/26)	13人 (11/21) (11/22)	9人 (12/25) (12/26)	10人 (1/24) (1/25)	87人 /16回

(文責 教育相談班係長 小林 東)

ふれあいルーム

4月に14人の通級登録者で今年度のふれあいルームはスタートしました。今年度は中学生が多く、2月末現在で登録者数(試験通級を含め)は16人。中でも中学3年生が全体の4割を占めています。先月28日(中学3年生通級最終日)には送別会を開き、6人の中学3年生を送りました。

ふれあいルームでは体験活動を重視し、いろいろな体験をし、人と接する機会を増やすことで少しずつ自信や存在感を取り戻しています。年度当初通級していた子が、途中から学校復帰(部分復帰)できるようになり、2月末現在では8割の子が学校復帰(部分復帰)することができています。再登校への意欲が低かった児童生徒が早めに当ルームに通級を開始することで、学校復帰につながっていった事例も多いため、学校訪問相談員やカウンセラーから通級への誘いを積極的に行ってもらっています。毎日安定して通級できる子が少なかったり、中学生が多く、学習指導や進路指導などの難しさもあつたりしますが、学校や学級担任の協力を得ながら連携して通級生の支援を行うことが重要と考えています。今後も学校、保護者と同じ方向・方針で通級生への支援が図れるよう努めていきたいと思ひます。

24年度の体験活動から

(八石山登山)



(笹団子作り)



(ふれあい畑の収穫)



(陶芸教室・作品展)



(文責 ふれあいルーム指導員 渡辺 仁平)

学校訪問相談

平成24年度学校訪問回数は84件でした(平成25年3月18日現在)。主に、定期学校訪問、要請学校訪問、学校サポート協議会を実施してきました。

(1) 定期訪問での相談内容の内訳 (小学校 20 校、中学校 12 校)

相談内容	特別支援 (通常学級在籍)	不登校傾向 不登校	学級経営 学習指導	生徒指導	特別支援 (支援学級在籍)	その他
件数	9 件	12 件	5 件	3 件	3 件	2 件
割合	26 %	35 %	15 %	9 %	9 %	6 %

(2) 要請訪問での相談内容の内訳 (要請件数 43 件 : 小学校 43 件、中学校 0 件)

相談内容	通常学級における特別支援 学級経営・学習指導	不登校傾向 不登校	発達障害	その他
割合	35 件 81 %	5 件 12 %	2 件 5 %	1 件 2 %

(3) 学校サポート協議会 (9 件 : 小学校 6 件、中学校 3 件)

相談内容	不登校	不登校傾向・部分登校	別室登校
割合	3 件 33 %	1 件 11 %	5 件 56 %

ここ数年、通常学級に在籍する特別支援を要する児童生徒に関することや学級経営・学習指導に関する定期・要請相談訪問が半数を超える状況になっています。特に、今年度の要請訪問においては 8 割を超えています。また、特性に起因する不登校傾向・不登校状態がみられる場合もあります。このような状況の下、学校では、複数の教職員で児童生徒・保護者を支援する体制を整えてきていると感じます。今後も、更に全ての教職員が発達障害特性の理解を深め、具体的な策をもって児童生徒・保護者に対応することが課題と考えます。

学校訪問相談でも、関係機関と連携を図りながら、学校のニーズに合ったより具体的な相談・支援を行っていききたいと考えております。

(文責 学校訪問相談員 春川 稔)



教育相談班 4月の予定



《ふれあいルーム》
 8 日 (月) 通級開始日
 12 日 (金) ソフィアセンター
 15 日 (月) 徒歩遠足
 24 日 (水) 保護者会



「定期学校訪問」は、25日(木)から予定しています。今年もよろしくお願ひいたします。

4月の行事予定表

日	曜	研修・行事・会議
1	月	
2	火	相：班会議13:00-
3	水	
4	木	
5	金	
6	土	
7	日	
8	月	ふ：前期通級開始日 再入級確認(-10日)
9	火	
10	水	
11	木	
12	金	ふ：ソフィアセンター
13	土	
14	日	
15	月	ふ：徒歩遠足(雨天等中止)
16	火	
17	水	
18	木	
19	金	
20	土	
21	日	
22	月	
23	火	
24	水	ふ：保護者会
25	木	
26	金	
27	土	
28	日	
29	月	昭和の日
30	火	



彗星接近中！

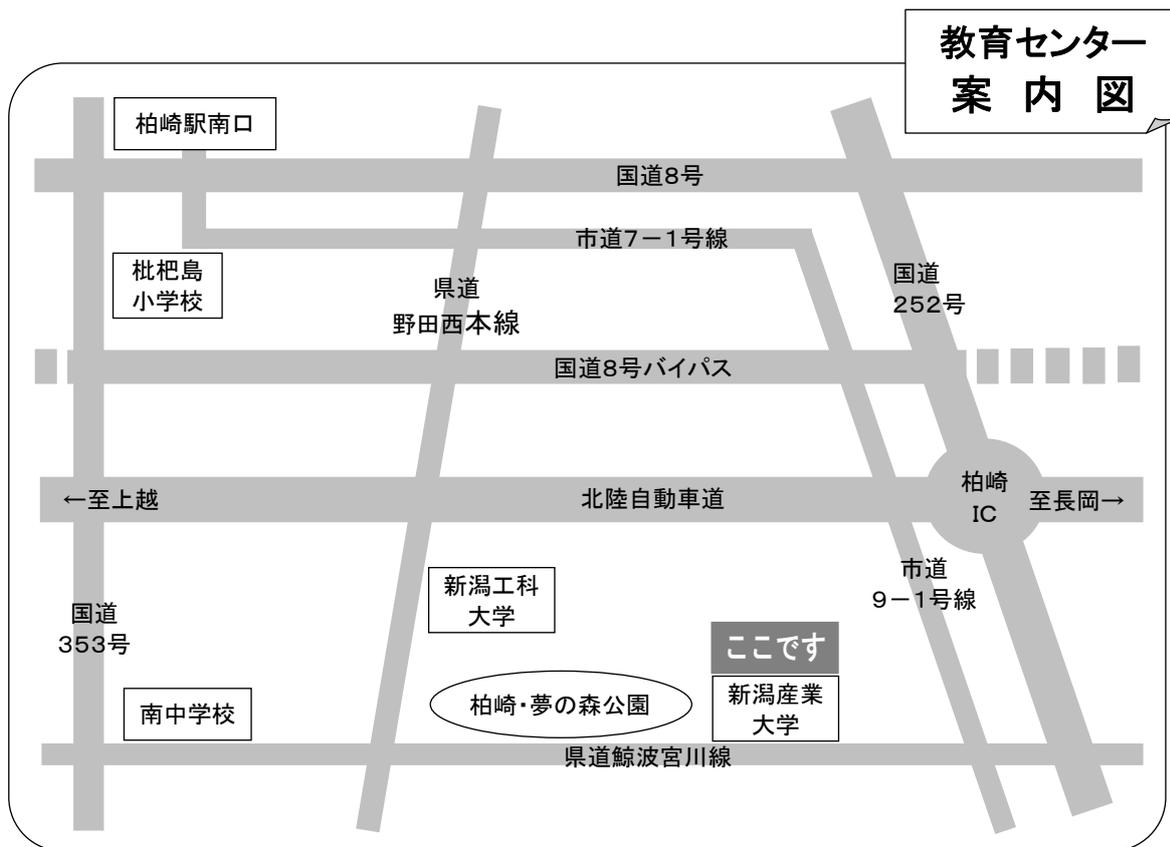
副所長 山田 智

十数年ぶりに「肉眼で見えるかな？」と期待されたパンスターズ彗星ですが、現在、肉眼でやっと見えるかどうか程度の明るさです。写真に撮ってみると彗星特有の銀粉がたなびく様子がわかりますが、眼視派にとっては「期待はずれ」と言っていると思います。大彗星か？と言われていたことが嘘だったような気もしてきます。

でも、次第に接近してくる彗星を追い求めていた貴重な時間がありました。車を走らせていたあの時間、募る思いで丘の上から海岸に下っていったあの時間、海辺に立ってなかなか見つからない訪問者をずっと探していたあの時間は、まさに十数年ぶりにやってきた「輝いた時間」でした。

だから、「残念」という気持ちはほとんどありません。きっと、彗星を見つけようとしてワクワクしていた自分の気持ちに満足しているんだなあ、と思います。こんなふうになると「負け惜しみだ」と言う人もいますが、本当のことです。

パンスターズ彗星も、間もなく去って行ってしまいます。過去、大彗星と言われた彗星も、全て去っていきました。もっと言うと、彗星だけでなくどんな出来事も過ぎ去っていくものですが、それを追い求めていた時間は消え去ることはありません。いつまでも心の中に記憶として残り続けています。そういう記憶を大事に積み重ねていきたいと思います。



〒945-1355 柏崎市大字軽井川4803番地2（新潟産業大学キャンパス内）

路線バスは、柏崎駅南口から新潟産業大学行きをご利用ください。

車でお越しの方は、キャンパス内では徐行をお願いします。

教科書センター利用案内

柏崎刈羽の小・中学校で使用している教科書のほか、各教科書会社の小・中学校の教科書各2冊、高等学校の教科書各1冊を備え付けています。どなたでも閲覧することができますほか、小・中学校の教科書は、閲覧だけではなく貸出も行っています。各教科書会社の学習内容の取り扱いの比較、授業研究のための教材研究などに役立ててはいかがでしょうか。

教育センター代表TEL:0257-23-4591

代表FAX:0257-23-4610

E-mail:k-center@city.kashiwazaki.niigata.jp

教育研究班・情報教育TEL:0257-23-1168

E-mail:kec@kenet.ed.jp

教育研究班(科学技術教育)TEL:0257-20-0212

E-mail:kagaku@kenet.ed.jp

教育相談班(カウンセリングルーム)TEL:0257-32-3397

E-mail:soudan@kenet.ed.jp

教育相談班(電話相談)TEL:0257-22-4115

青少年育成センターTEL:0257-20-7601

E-mail:ikusei@city.kashiwazaki.niigata.jp

教育情報支援システム URL:http://kedu.kenet.ed.jp